

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【公開番号】特開2009-4138(P2009-4138A)
 【公開日】平成21年1月8日(2009.1.8)
 【年通号数】公開・登録公報2009-001
 【出願番号】特願2007-162022(P2007-162022)
 【国際特許分類】

F 2 1 V 29/00 (2006.01)

F 2 1 Y 101/00 (2006.01)

【FI】

F 2 1 M 7/00 K

F 2 1 Y 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月18日(2010.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光照射方向前方が開放した筐体と、この筐体内に配置された光源と、この光源からの光を光照射方向前方に向かって反射する反射面を備えたりフレクタと、上記筐体の開放した前面を密閉する透光性材料から成る前面レンズと、を含んでいる車両用灯具において、上記リフレクタの反射面を備えない側の面に密着した別体の熱伝導部材を備え上記筐体またはリフレクタが、断面形状が上記リフレクタの反射面を備えない面を一辺とするほぼV字形の溝部を備えており、上記熱伝導部材が、この溝部に配置されていることを特徴とする車両用灯具。

【請求項2】

上記熱伝導部材が、上記リフレクタの反射面を備えない面に背向する面に、逆棘状構造を備えていることを特徴とする、請求項1に記載の車両用灯具。

【請求項3】

上記熱伝導部材が、上記溝部内への挿入方向の大きさが、この溝部の奥行きより大きく選定されていることを特徴とする、請求項1または2に記載の車両用灯具。

【請求項4】

上記リフレクタに隣接した第二のリフレクタを備えており、上記溝部の上記一辺とは異なる他方の辺が、上記第二のリフレクタの反射面を備えない面であることを特徴とする、請求項1から3の何れかに記載の車両用灯具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記目的は、本発明によれば、光照射方向前方が開放した筐体と、この筐体内に配置された光源と、この光源からの光を光照射方向前方に向かって反射する反射面を備えたリフレクタと、上記筐体の開放した前面を密閉する透光性材料から成る前面レンズと、を含んでいる車両用灯具において、上記リフレクタの反射面を備えない側の面に密着した別体の熱伝導部材を備え上記筐体またはリフレクタが、断面形状が上記リフレクタの反射面を備えない面を一辺とするほぼV字形状の溝部を備えており、上記熱伝導部材が、この溝部に配置されていることを特徴とする車両用灯具により、達成される。